

# 英 語 (60分)

( 令和7年度 後期日程 )

## 注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. この冊子は全部で5ページから成っています。表紙を開くと白紙があります。さらに、その白紙を開いた右のページから1ページ目の問題が始まります。印刷が不鮮明な場合、又はページの脱落に気付いたときは、申し出てください。
3. 解答用紙は2枚です。
4. 解答は必ず解答用紙の指定された欄に記入してください。
5. 解答用紙には必ず受験番号、氏名を記入してください。記入を忘れたとき、あるいは誤った番号を記入したときは失格となることがあります。
6. 解答用紙の解答欄に、関係のない文字、記号、符号などを記入してはいけません。
7. 解答は200点満点で採点され、海洋電子機械工学科は採点結果の0.25倍が得点になります。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

1 与えられた日本語の意味になるように英文を完成させなさい。その際、( ) 中の語句すべてを必要に応じて適当な形に変えて使い、適宜単語や句読点（コンマ、ピリオドなど）を補い、時制の指定などがある場合にはそれに従うこと。(7×10=70)

- 1 バスが停留所に止まっている時でも、その前を横切ってははいけません。  
Don't (front, cross, in) the bus even when it (stop) at a bus stop.
- 2 お久しぶりですね。どうぞお座りください。  
I (see, 現在完了) you for a long time. Please (seat).
- 3 我々が最後にその計画について議論してから、何が変わったのですか？  
(change, 現在完了) we last (discuss, 過去) the plan?
- 4 とても小さい頃に、何度かパリに行きました。  
When I (very small, be), I (go) to Paris several times.
- 5 その選手は足を踏まれて、交代を余儀なくされた。  
The player (get, step, his foot, on, 過去), and (force, replace, 過去).
- 6 男が銃のようなものを持って、部屋に押し入ってきた。  
A man (break, 過去) the room (appear, be, what, with) a gun.
- 7 子どもたちは、なんと速く新しい単語を覚えるのだろうかといつも驚いている。  
It (amaze, always, 現在) me (pick, children, quickly, up, 現在) new words.
- 8 時間までに申し込んでいたら、今頃は学会に参加しているのになあ。  
If I (apply) in time, I (attend) the conference now.
- 9 シャワーを浴びていると、誰かがドアをノックする音が聞こえた。  
I (take, a shower, 過去進行), when I (hear, knock, someone, 過去) the door.
- 10 昔はタバコを吸っていましたが、3年前に止めました。  
I (used, smoke), but I (give, up, it, 過去) 3 years ago.

2 与えられた日本語の意味になるように英文を完成させなさい。その際、( ) 中の語句すべてを必要に応じて適当な形に変えて使い、適宜単語や句読点（コンマ、ピリオドなど）を補うこと。解答用紙には、下線部[A][B]に入る英語表現のみを記入すること。(5×6=30)

1 私たちの多くは、親として、あるいは子供として、子供向け雑誌の絵の内部にある「隠された絵」を見つけようとした経験がある。たいていは、木や茂みや花やそれ以外の自然の断片を伴った風景を提示される。その見出しには次のようにある。「この絵のどこかに隠されているのは、男の子を乗せた荷車を引いているロバです。見つけられますか。」一生懸命頑張っても、雑誌のもっと後ろのページをみるまで、その隠された絵を見つけることは普通できないだろう。

Most of us have had the experience, either as parents or youngsters, of trying to discover the "hidden picture" within another picture in a children's magazine. Usually you are shown a landscape with trees, bushes, flowers and other bits of nature. The caption reads something like this: "Concealed [A] (a donkey, this picture, somewhere, in) pulling a cart with a boy in it. Can you find them?" Try as you might, usually you could not find the hidden picture [B] (farther, page, you, to, turned, a) back in the magazine.

2 理論の価値の多くは、言語の理論であれ、生物学的遺伝の理論であれ、物質構造の理論であれ、研究者に何を探すべきなのかを教えてくれるその力にある。そのおかげで、研究者は、それがなければ気づかなかったであろう事実を発見したり、あるいは、それがなければ研究者にとって無関係のままだったであろう事実の間のつながりを見出したりすることができるのである。天文学者がブラックホールを特定できたのは、そのような天体（すなわち、脱出速度が光速を上回るほどの高い密度を持ち、それゆえ、光や放射線を放出することのできないような天体）が存在する可能性を示唆し、そのような天体の物理的特性がどのようなものかを示す、物質と光に関する理論があったからにほかならない。

Much of the value of theories, whether of language, of biological inheritance, or of the structure of matter, lies [A] (look, tell, their ability, investigators, what to, to) for, thereby enabling them to discover facts that would otherwise have escaped notice or to see connections among facts that would otherwise have remained unrelated for them. Astronomers have been able to identify black holes only as a result of having theories of matter and of light that implied the possibility of such objects (that is, of objects with a density so [B] (greater, high, their escape velocity, that, is) the speed of light and which thus cannot emit light or radiation) and which indicated what the physical characteristics of such objects would be.

3 科学は世界を理解するときに役立つ道具だが、科学が世界を理解するために我々が使う唯一の道具でないのは、金づちが家を建てるために使う唯一の道具ではないのと同様である。今日、私たちが直面している危機は、プロの科学者も、増えつつある一般の人々も、科学が真実の唯一の決定者であると信じていることである。物理学者のスティーヴン・ホーキングとレナード・ムロディナウは、2009年の著書『グランド・デザイン』の中でこう書いている。「現実の本質とは何なのか。このすべてはどこから来たのか。宇宙は創造主を必要としたのか。伝統的に、これらは哲学のための質問だが、哲学は死んでしまった。哲学は科学、特に物理学における現代の発展に追いついていない。科学者たちは、私たちの知識の探求における発見のともしびの担い手となったのである。」

Science is a helpful tool when it comes to understanding the world, but it's not the only tool we use to understand the world, [A] (more, the only tool, than; a hammer, any) you use to build a house. The danger we face today is that both professional scientists and a growing number of laypeople believe that science is the sole arbiter of truth. Physicists Stephen Hawking and Leonard Mlodinow wrote in their 2009 book *The Grand Design*, "What is the nature of reality? Where did all this come from? Did the universe need a creator? Traditionally, these are questions for philosophy, but philosophy is dead. Philosophy has [B] (keep, science, not, up, modern developments, in), especially physics. Scientists have become the bearers of the torch of discovery in our quest for knowledge."

[出典]

- 1 Allen, Gary and Abraham, Larry. 2014. *None Dare Call it Conspiracy*. Dauphin Publications. (一部改変)
- 2 McCawley, James D. 1998. *The Syntactic Phenomenon of English*. University of Chicago Press. (一部改変)
- 3 Horn, Trent. 2014. *20 Answers: Faith and Science*. Catholic Answers Press. (一部改変)

③ 下記の和文と同じ意味になるように、(1)から(20)の[ ]の中に、適切な英単語を1語ずつ入れて英文を完成させなさい。[ ]内にアルファベットが書かれている場合は、そのアルファベットで始まる英単語を書きなさい。答えはすべて解答用紙に記入すること。(5×20 = 100)

[和文]

あなたは今までに不気味の谷に行ったことがありますか。そこは我々の大半が時々、おそらくそれとは知らずに訪れる場所です。

「不気味の谷」という表現は、本物の谷を指しているわけではありません。実際のところ、それは約50年前に日本のロボット工学研究者の森政弘によって初めて提唱されたグラフの中の谷を指しているのです。森教授は完全に非人間的なロボット（例えば R2-D2）から 100 %人間的なロボット（鉄腕アトム）までの、ロボットの外観の連続体を描きました。この連続体をたどっていくと、ロボットの外観が人間的になればなるほど、我々の親近感が高まるのです。しかしながら、「人間に近づく」ある一点において、この感情は突如として下降し、グラフ上の深い谷へと落ち込むのです。ほぼ人間と同じアンドロイドと実際の人間との細かな相違点によって、我々は深い嫌悪や不気味さを感じるのです。この谷が不気味の谷です。

まるで生きているようなロボットも、世界のあちこちの研究者によって作られています。それにもかかわらず、それらにはしばしば何か気味の悪いところがあります。おそらく目や動き方に関わる何かによって人々は不快に感じるのです。したがって、一つの提案は、ロボットをもっと好ましいものにするには、ロボットをもっと機械のように — もっとロボットらしく見えるようにするのが最善だということです。そして確かに、世界で人気のあるロボットの中には、完全にロボットらしく見えるものがあるのです。ASIMO や C-3PO がよい例です。

不気味の谷という仮説は長い間存在していますが、最近それはロボットのためではなく、スマートフォンのアプリのために再び注目されるようになりました。SnapChat のような一部の人気のあるアプリによって、ユーザーは友人と写真を撮り、その後2人の友人どうしの顔を交換することができるようになりました。その結果は多くの場合、おもわず嘔き出してしまうようなものですが、時々かなり不気味なものになり得ます。

[英文]

Have you ever (1)[ ] to the uncanny valley? It is a place that most of us visit every now and (2)[ ], perhaps (3)[ w ] realizing it.

The expression “uncanny valley” does not refer to a real valley. (4)[ ] fact, it refers to a dip in a graph that was first proposed by Japanese robotics researcher Masahiro Mori about 50 years ago. Professor Mori described a spectrum for robot appearance, from completely non-human (for example, R2-D2) (5)[ ] 100 percent human (Astro Boy). (6)[ ] we move along the spectrum, our feelings of familiarity increase (7)[ ] robot appearance becomes (8)[ ] human. However, at the “near human” point, these feelings suddenly fall into a deep trough on the graph. Small differences (9)[ ] almost-human androids and real humans make us feel deep revulsion or uncanniness. This dip is the uncanny valley.

Some very lifelike robots have been made by researchers (10)[ a ] the world. (11)[ N ], there is often something creepy about them. Perhaps something about the eyes, or in the (12)[ ] they move (13)[ ] people feel uneasy. Thus, one proposal is (14)[ ], (15)[ ] make robots more likeable, (16)[ ] is best to (17)[ h ] them look more like machines — more like robots. And indeed, some of the world’s favorite robots look completely like robots; ASIMO or C-3PO are good examples.

The uncanny valley theory has been around for a long time, but it has recently come to attention again, not due to robots (18)[ ] due to smartphone apps. Some popular apps (19)[ ] as SnapChat, (20)[ a ] users to take pictures with a friend and then swap the two friends’ faces. The results are often hilarious but sometimes can be rather creepy.

[出典]

Lynch, Jonathan and Shitori, Kotaro. 2018. *Trend Watching 2*. 成美堂. (一部改変)